

令和5年度（2023年度）

金沢大学法科大学院

入学試験問題

商 法

**D 日程入試**

（注意）

1. 問題冊子（表紙を含む）は2枚です。
2. 問題冊子は指示があるまで開かないで下さい。
3. 問題冊子と下書き用紙は持ち帰って下さい。
4. 解答は、鉛筆、シャープペンシル、ペン、ボールペンのいずれで記入しても構いません。
5. 解答にあたっては、どの問題から解答しても構いません。ただし、どの問題についての解答であるのかを答案中に明示してください。

## 令和5年度（2023年度）金沢大学法科大学院入学試験問題

試験科目	商	法
------	---	---

以下の問題について解答しなさい。

### 問題1（10点）

いわゆる所有と経営の分離について、意義、その長所と短所及び短所を補う会社法上の規律について、述べよ。

### 問題2（15点）

次の事例を読み、[問い]に答えなさい。

X株式会社は投資ファンドであり、Y株式会社の10%の株式を有している。X株式会社は、Y株式会社の発行済株式のすべてを取得すべく、公開買付けを行うことを公告し、株式市場において、Y株式会社の株式の買付けを始めた。なお、X株式会社は、経営支配をするつもりはない旨も併せて公言していたものの、投資の回収方法につき、具体的なことは何も公言しなかった。

これに対しY株式会社の取締役会は、当該公開買付けがY株式会社の企業価値を毀損するおそれが強いと判断し、当該公開買付けに反対することを決議した上、株主総会を招集し、基準日における全株主に対して新株予約権を無償で割り当てつつ、X株式会社以外の株主にしかその行使を許さない（その代わりに、X株式会社には新株予約権に見合う対価を支払う）という議案を提案し、80%以上の賛成を得た上で、かかる新株予約権の割当て等を行った。

#### [問い]

Y株式会社の新株予約権の割当てが許されるか、判例を踏まえ、特に株主平等の原則の観点を指摘しつつ、述べよ。

以上